

健康日本21福岡市計画 (原案)

【概要版】

健康日本21福岡市計画（案）の概要

1. 計画の位置づけ

第9次福岡市基本計画

目標1 一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている

施策1-3:一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり

福岡市保健福祉総合計画

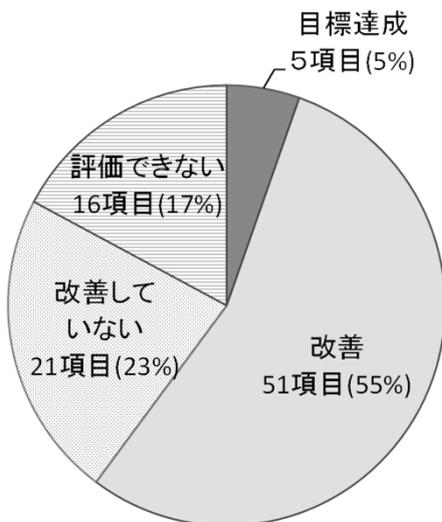
健康日本21福岡市計画

【計画期間】平成25～32年度（平成29年度に中間見直し）

【性格】健康増進法に基づく市町村健康増進計画

2. 前計画の結果（平成13年度策定～平成24年度終了）

健康目標の結果



●健康目標の6割が改善

前計画に掲げた93項目の健康目標のうち全体の6割で改善、具体的には食育への関心や歯の健康、心疾患死亡率などで改善がみられました。小学校区で推進する「校区健康づくり実行委員会」等での活動数も着実に伸び、ウォーキング人口もこの10年で27万人から39万人に増加しました。

一方で、女性の健康づくりに関する項目であまり改善が進んでいない状況も見られます。

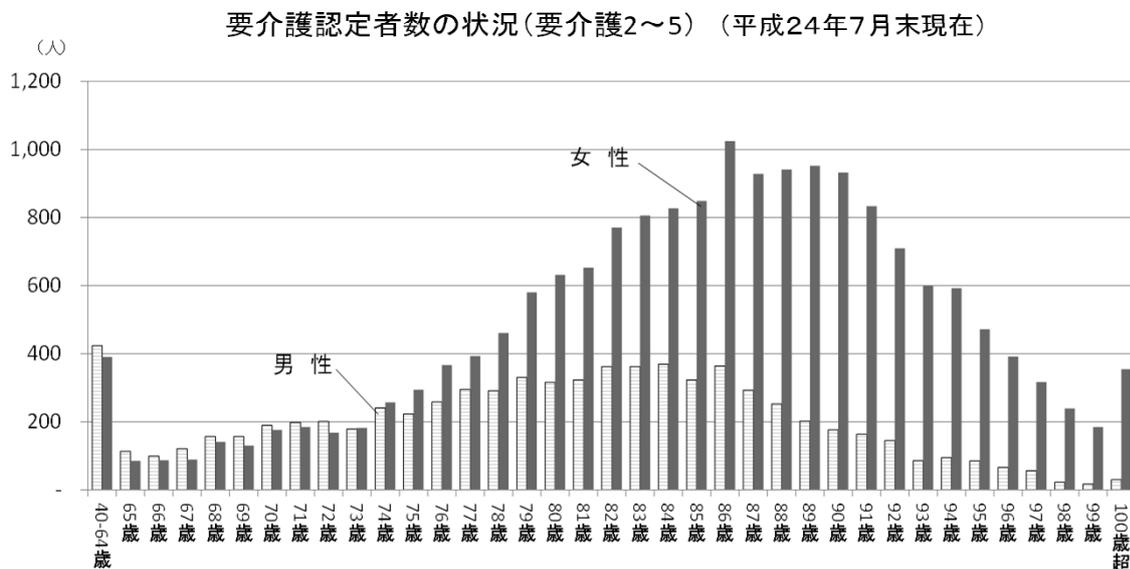
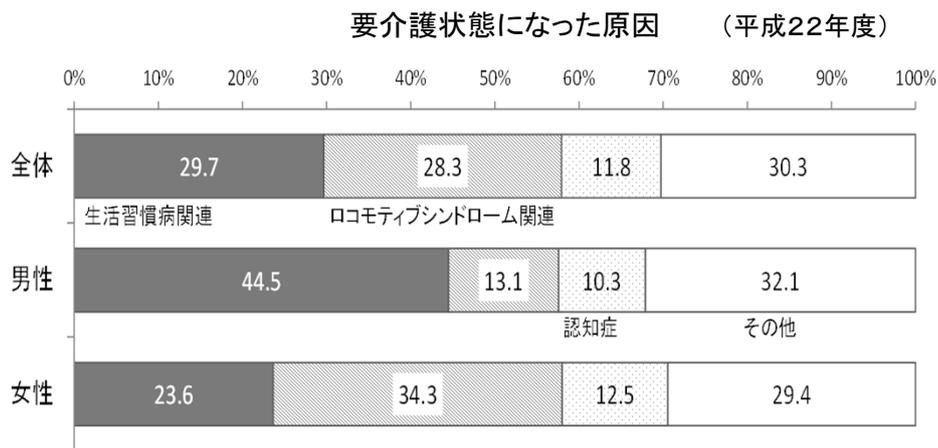
3. 健康づくりを取り巻く状況

* 福岡市の社会状況

- 人口の4分の1が高齢者（平成32年）
- 全世帯の半数以上が単身世帯（平成32年）
- 社会保障関係費は今後10年間で3割以上増加
- 第3次産業従業者が全体の85%を占める

* 生活習慣病等に関する課題

- 医療費の4割が生活習慣病
- 要介護原因の6割が生活習慣病とロコモティブシンドローム（運動器症候群）
- 女性の要介護認定者は男性の2.5倍



4. 計画のめざす姿

健康福祉のまちづくりの実現のためには市民一人ひとりの健康づくりが大切であり、次の理念に基づいて「健康日本21福岡市計画」を推進していきます。

* 基本理念

健康は、市民が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らしていくための基礎であり、まず市民一人ひとりの健康づくりの取り組みが重要です。

健康日本21福岡市計画では、市民の自主的な健康づくりを支援するため、健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めるとともに、さまざまな機関・団体等と連携し、家庭・職場・地域など、福岡市のあらゆる場面で健康づくりを進めます。これらを通じて健康福祉のまちづくりの実現をはかります。

* 基本方針

これからの福岡市の健康づくりの主要課題

課題1
市民の健康づくりは超高齢化対応のまちづくりの基本条件

課題2
生活習慣病対策・重症化予防対策

課題3
若い頃からの女性の健康づくり

課題4
次世代の健康づくり

課題5
こころの健康づくり

課題6
喫煙・受動喫煙対策

課題7
地域での健康づくり

課題8
小規模事業所等での健康づくり

課題9
健康づくりの環境整備

課題10
継続的なデータ把握と政策評価の仕組み

基本理念の実現に向けた基本方針

(1) 健康寿命の延伸

食事・運動・喫煙などの生活習慣の改善によって福岡市民の健康寿命の延伸を図るとともに、家庭・職場など、生活状況の違いによって生じる健康づくり環境の差に配慮した取り組みを進めます。

(2) 生活習慣病の発症予防・重症化予防

各種の健診による生活習慣病の早期発見・予防に取り組むとともに、生活習慣病の重症化予防に取り組んでいきます。

(3) ライフステージに応じた健康づくり

乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期それぞれのライフステージに応じ、また男性と女性の特性や状況を踏まえた健康づくりを進めます。また、うつ病等のこころの健康づくりや若い頃からの女性の健康づくりに取り組みます。

(4) 地域や職場での健康づくり

引き続き地域住民による自主的な健康づくり活動を支援するとともに、小規模事業所等で働く人の健康づくり支援を進めます。

(5) 健康づくりの環境整備

市民が健康づくりに関心を持ち、気軽に取り組めるよう、企業やNPO・市民団体等と連携しながら、健康づくり支援の仕組みづくりを進めます。また情報通信技術(ICT)を利用した情報発信や企業のPR手法の活用等により、市民の行動変容を促す魅力的な啓発を進めます。市民が楽しく散歩やウォーキングができる、外出しやすい環境づくりを進めます。

(6) 数値指標の設定と継続的なデータ把握

取り組みの進捗状況を把握し、市民とともに健康づくりを推進していくため、できるだけ分かりやすい数値指標を掲げます。また大学等の研究機関と連携しながら継続的なデータ把握を行い、効果的な施策展開に努めます。

5. 施策体系

1 生活習慣病対策の推進

(1) 生活習慣の改善

栄養・食生活/運動・身体活動/休養/飲酒/喫煙/
歯・口腔の健康

(2) 生活習慣病の早期発見と重症化予防

がん/循環器疾患（心疾患・高血圧・脳卒中）/
糖尿病・慢性腎臓病（CKD）

2 こころの健康づくり

3 次世代の健康づくり

(1) 母親と子どもの健康づくり

(2) 学校における児童生徒の健康づくり

4 女性の健康づくり

(1) 若い世代の女性の健康づくり

(2) 中高年期の女性の健康づくり

5 高齢者の健康づくり

(1) 高齢者の社会参加・地域の支え合い

(2) 介護予防

(3) 認知症予防

6 みんなで取り組む健康づくり

(1) 地域の健康づくり支援

(2) 企業・NPO・民間団体等との連携・支援

(3) 健康支援の仕組みづくり

(4) 健康づくりの環境整備

6. 重点施策

(1)健康づくりチャレンジ事業の推進

健康づくりポイント制度
通信型健康づくり事業
健康づくりの都市間交流

(2)「福岡市健康づくりサポートセンター」を核とする生活習慣病対策の推進

(3)「たばこ行動指針」の改定と喫煙・受動喫煙対策の推進

(4)子どもや女性の健康づくり推進

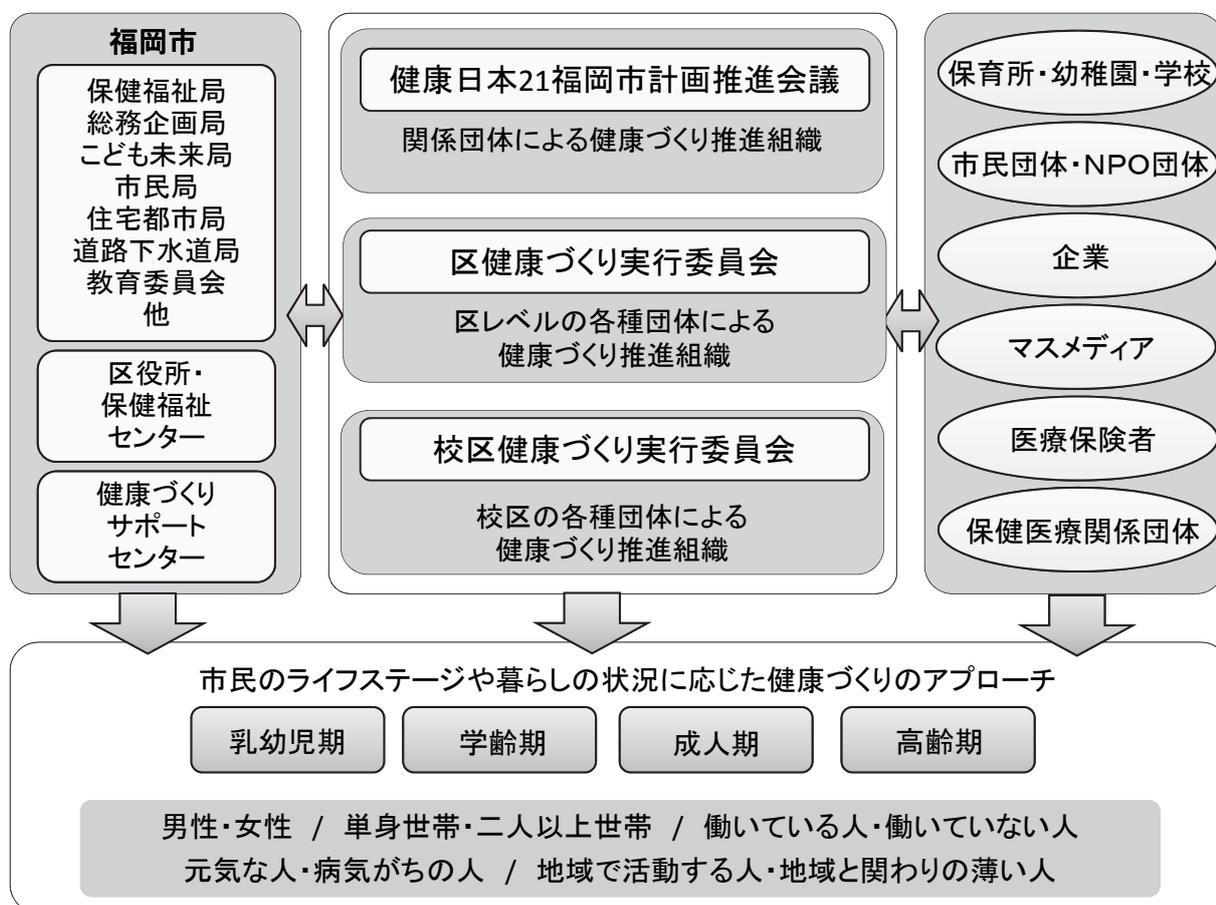
(5)健康出前講座の実施

(6)魅力的な活動の場づくり

(7)継続的なデータ把握と施策展開の仕組みづくり

健康づくりモニターの募集
行政・企業・研究機関等による健康づくりプラットフォームの構築

7. 推進体制



8. 分野別健康づくり指標一覧

分類		健康づくりの指標	対象・項目	現状値	目標値	
計画全体の指標		健康であると感じている人の割合	20歳以上	76.1%	80%	
		健康づくりに取り組んでいる人の割合	20歳以上	57.6%	75%	
		年に一回健康診断を受けている人の割合	20歳以上	66.8%	80%	
1 生活習慣病対策の推進	(1) 生活習慣の改善	①栄養・食生活	朝食を毎日食べる人の割合	男性(20～30歳代)	63.2%	70%
			女性(20～30歳代)	77.3%	90%	
			野菜を毎食食べる人の割合	20歳以上	32.4%	50%
		②運動・身体活動	1日あたりの歩数	男性(20歳以上)	7,621歩	9,000歩
				女性(20歳以上)	7,281歩	8,500歩
		③休養	睡眠で休養が十分とれていない人の割合	男性(30～40歳代)	29.9%	24%
				女性(30～40歳代)	31.5%	25%
		④飲酒	生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人の割合の減少	男性	12.1%	10%以下
				女性	9.7%	8%以下
		⑤喫煙	成人の喫煙率を下げる	男性(20歳以上)	26.4%	15%
	女性(20歳以上)			11.0%	4%	
		受動喫煙の機会がある人を減らす	12歳以上	58.5%	25%	
	⑥歯・口腔の健康	80歳で20歯以上の自分の歯を有する人の割合	75歳～84歳	41.2%	50%	
			一人平均むし歯数	12歳児	1.28歯	1歯未満
	(2) 生活習慣病の早期発見と重症化予防	①がん	がん検診の受診率 (職域も含む市民全体の受診率)	胃がん検診	37.4%	50%
				大腸がん検診	33.7%	50%
				肺がん検診	38.1%	50%
子宮頸がん検診				31.8%	50%	
乳がん検診				37.7%	50%	
②循環器疾患 (心疾患・高血圧・脳卒中)		特定健診実施率	特定健診	特定健診	19.5%	40%
				特定保健指導実施率	※ 特定保健指導	35.4%
③糖尿病・慢性腎臓病 (CKD)	特定健診実施率【再掲】	特定健診	特定健診	19.5%	40%	
			特定保健指導実施率【再掲】	特定保健指導	35.4%	40%
	新規透析導入者の割合	新規透析導入者の割合	289人 (人口百万人対)	217人 (人口百万人対)		

※福岡市国民健康保険の特定健診等実施計画(平成25～29)についても、健康日本21福岡市計画の中で一体的に策定

分類		健康づくりの指標	対象・項目	現状値	目標値
2 こころの健康づくり		自殺者数の減少	自殺者数の減少	335人	256人以下
		ストレスのために体調を崩す人の減少	男性(12歳以上)	25.9%	23%以下
			女性(12歳以上)	40.6%	36%以下
3 次世代の健康づくり	(1)母親と子どもの健康づくり	22時以降に就寝している3歳児の割合	3歳児	36.6%	減少
		1日3回の食事を規則正しく食べている3歳児の割合	3歳児	89.6% (参考値)	100%
	(2)学校における児童生徒の健康づくり	児童生徒の体力運動能力の状況 ※全国平均を50とした場合の値	小学校5年生(男子)	49.7	50
			小学校5年生(女子)	47.6	50
			中学校2年生(男子)	47.3	50
			中学校2年生(女子)	47.3	50
		朝食を毎日食べている児童生徒の割合	小学生	90.8%	100%
中学生	85.7%	100%			
4 健康女性の健康づくり	(1)若い女性の健康づくり	18歳～20歳代のやせすぎの女性の減少	18歳～20歳代のやせすぎの女性	25.0%	15%以下
		20歳代女性の喫煙率を下げる	20歳代女性の喫煙率	13.6%	6%
		妊婦の飲酒をなくす	妊婦の飲酒率	3.5%	0%
	(2)中高年の女性の健康づくり	ロコモティブシンドロームを知っている人の割合	40歳以上	9.5%	80%
5 高齢者の健康づくり	高齢者の健康づくり全体の指標	自立して生活している60歳以上の割合	60歳以上	89.9%	現状を上回る
		健康で普通に生活している60歳以上の割合	60歳以上	44.0%	50%
		要介護2以上に認定された年齢(健康寿命)	男性	80.0歳	現状を上回る
	女性		82.9歳	現状を上回る	
	(1)高齢者の社会参加・地域の支え合い	ふれあいネットワークを構築している自治会・町内会	自治会・町内会	1,635 (72.2%)	2,040 (90%)
	(2)介護予防	ロコモティブシンドロームを知っている人の割合【再掲】	40歳以上	9.5%	80%
	(3)認知症予防	認知症サポーターの人数	認知症サポーターの養成数	21,654人	60,000人
6 みんなでき健康づくり	(1)地域の健康づくりの支援	健康ふくおか10か条を知っている人の割合	12歳以上	14.5%	25%
		食生活改善推進員が活動している校区数	活動校区数	101校区	130校区
	(2)企業・NPO・民間団体等との連携・支援	健康づくりに取り組んでいる人の割合【再掲】	20歳以上	57.6%	75%
			20歳以上	57.6%	75%
(4)健康づくりの環境整備	ウォーキング人口	20歳以上	30万人	50万人	